

《2016年(平成28年)度入学生用》

応用化学科

Department of Applied Chemistry

【第Ⅱ群】

専門共通科目

- a) 共通基礎科目
- b) 専門基礎科目
- c) 学部共通基礎科目

【第Ⅲ群】

専門科目 ——— 専門科目

応用化学科は、『「暮らし」を支え「みらい」を拓く化学のちから。』を基礎理念としている。「暮らし」を支え「みらい」を拓くための課題に対して、化学の力を使って積極的に取り組むことによって、環境に調和した持続循環型社会の実現に寄与し、食品・バイオから次世代エネルギー素材まで、さまざまな産業分野で広く活躍できる健全で幅広い視野、基礎学力、および実践力を備えた化学技術者・研究者を育成することを教育・研究上の目的としている。

その教育目標を達成するために、分析化学、無機化学、有機化学、物理化学、および生物化学に基礎をおき、高分子化学、触媒化学、ナノテクノロジーなどの最先端の分野で高機能な物質の開発や製造のために活躍できる技術者・研究者を育成する「応用化学コース」、身のまわりの素材や製品開発、食品・バイオ分野の製品開発において活躍できる技術者・研究者を育成する「生活・食品化学コース」の2コースを用意して、それぞれのコースで特色ある教育および研究の展開を図っている。これらの2コースは、内容的にもまた組織形態の上でも密接に相互連携して運営されている。

具体的には、第1学年前期には、大学における学習環境や本学科の教育目標、カリキュラムを理解するために、応用化学概論(必修)が置かれている。専門基礎科目として、第1学年後期と第2学年第1クォーターで、分析化学Ⅰ、無機化学Ⅰ、Ⅱ、有機化学Ⅰ、Ⅱ、物理化学Ⅰ、Ⅱ、および生物化学Ⅰ、Ⅱを必修科目として学ぶ。無機化学Ⅲ、有機化学Ⅲ、物理化学Ⅲ、および生物化学Ⅲは選択必修科目として第2学年後期で学ぶ。また、いかに理論が進歩しても、対象の多様さと複雑さのために実験による裏付けがもっとも重要であるという化学の特徴から、第1学年に配置した応用化学基礎実験を通して実験の基本を習得し、第2学年では有機化学実験をはじめとする各種実験科目を通して実験の方法論や手順などを学ぶ。さらに、演習による基礎知識の整理と理解も不可欠であることから、物理化学演習Ⅰ、Ⅱ、無機化学演習、有機化学演習が第1、第2学年に配置されている。ハイブリッド留学は第2学年第2クォーターに実施される。この間、必修科目はなく選択科目のみが開講されているため、ハイブリッド留学参加者が進級する上で履修上の問題は生じないよう配慮されている。

2年以上在学し、3年次科目履修条件を満たすと第3学年の授業を受けることができる。第3学年からは応用化学コースと生活・食品化学コースに分かれ、適性や志望に応じて各分野で専門的知識と技能を習得する。専門科目A群には、応用化学系科目(14単位)、生活・食品化学系科目(12単位)、両コースに共通して必要な専門科目(16単位)が設置されている。さらに、他学科の共通科目としてB群(29単位)も設置されており、各自の希望に合わせてそれぞれの群から自由に選択することができる。例えば、多分野にわたる食品衛生管理者・食品衛生監視員の資格に必要な専門科目をコース専門科目とともに無理なく修得できるように配慮されている。また、応用化学実験A、B、C、Dを通して、4年次の卒業研究をスムーズにスタートするために必要な実験技術を習得する。

第4学年では、必修科目の卒業論文(8単位)があり、いずれかの研究室に所属して卒業研究を行う。卒業研究はそれまでの3年間の総決算であり、基礎的な分野から最先端の分野にわたる種々のテーマについて、実験と考察を通して、自ら主体的に問題点を見だし、それを解決する能力を学ぶとともに、組織のなかでの協調性を身につける。

最後に、本学科では教職に関する科目を修得することによって、「理科」教員の免許取得への道が開かれている。「理科」教員免許を修得できることは基礎学問を重視している本学科ならではの特徴である。

2016年度入学生用 応用化学科 履修フロー

カテゴリー 授業のねらい	1年 前期				1年 後期				2年 前期				2年 後期				3年 前期				3年 後期				4年 前期				4年 後期			
	1年 1Q	1年 2Q	1年 3Q	1年 4Q	2年 1Q	2年 2Q	2年 3Q	2年 4Q	3年 1Q	3年 2Q	3年 3Q	3年 4Q	4年 1Q	4年 2Q	4年 3Q	4年 4Q	3年 1Q	3年 2Q	3年 3Q	3年 4Q	4年 1Q	4年 2Q	4年 3Q	4年 4Q	4年 1Q	4年 2Q	4年 3Q	4年 4Q				
I 群 総合文化科目	工学概論スタディーズ(1)※ ロジカルライティングⅠ(2)※ 八王子・月曜・1~4限				ロジカルライティングⅡ(2)※				科学と論理(1)				総合文化科目				総合文化科目				総合文化科目				総合文化科目							
	Basic EnglishⅠ(1) Basic CommunicationⅠ(1)				Basic EnglishⅡ(1) Basic CommunicationⅡ(1)				Basic Academic EnglishⅠ(1)				Basic Academic EnglishⅡ(1)				新館・月曜(1~3限)・水曜(3~5限) 木曜(1~4限)・金曜(1~2限)				新館・月曜(1~3限)・水曜(3~4限) 木曜(1~4限)・金曜(1~2限)				新館・月曜(1~3限)・水曜(3~4限) 木曜(1~4限)・金曜(1~2限)							
	身体・運動科学演習(2)				身体・運動科学演習(2)				応用英語・第2外国語				応用英語・第2外国語				生進スポーツA(1)				生進スポーツB(1)				生進スポーツC(1)							
	キャリア支援科目				キャリア支援科目				キャリアデザイン(2)				キャリアデザイン(2)				キャリアデザイン(2)				キャリアデザイン(2)				キャリアデザイン(2)							
II 群 専門共通科目	自然科学の共通力(1)※ 微分(1) → 積分(1) → 微積分(1) → 偏微分(1) 微分・積分演習(1)				線形代数1(1) → 線形代数2(1) → 線形代数3(1) → 線形代数4(1)				物理学Ⅰ(1) → 物理学Ⅱ(1) 物理学実験(1) 物理学演習(1)				化学Ⅰ(1) → 化学Ⅱ(1) 化学実験(1)				生物学(1)				地学(1)				情報処理入門(2)							
	共通基礎科目				共通基礎科目				共通基礎科目				共通基礎科目				共通基礎科目				共通基礎科目				共通基礎科目							
	応用化学基礎(2)				有機化学Ⅰ(2) 無機化学Ⅰ(2) 物理化学Ⅰ(2) 生物化学Ⅰ(2) 分析化学Ⅰ(2)				有機化学Ⅱ(2) 無機化学Ⅱ(2) 物理化学Ⅱ(2) 生物化学Ⅱ(2) 分析化学Ⅱ(2)				有機化学Ⅲ(2) 無機化学Ⅲ(2) 物理化学Ⅲ(2) 生物化学Ⅲ(2)				生物学実験(1)				生物学実験(1)											
	学部共通基礎科目				学部共通基礎科目				学部共通基礎科目				学部共通基礎科目				学部共通基礎科目				学部共通基礎科目											
A 群 専門科目	実験系				実験系				実験系				実験系				実験系				実験系				実験系							
	演習系				演習系				演習系				演習系				演習系				演習系				演習系							
	卒業論文				卒業論文				卒業論文				卒業論文				卒業論文				卒業論文				卒業論文							
	共通専門科目				共通専門科目				共通専門科目				共通専門科目				共通専門科目				共通専門科目				共通専門科目							
B 群	応用化学コース				応用化学コース				応用化学コース				応用化学コース				応用化学コース				応用化学コース				応用化学コース							
	生活・食品コース				生活・食品コース				生活・食品コース				生活・食品コース				生活・食品コース				生活・食品コース				生活・食品コース							

※：必修ではないが自動履修登録科目

必修科目

選択科目

選択必修科目

安全化学(1)
くらしと化学(1)
化学工業基礎(1)
物理化学演習(1)
有機・有機材料概論(1)
真空応用機器(1)
微細加工技術(1)
繊維学及び機械要素(2)
物理学概論(2)
化学概論(2)
知的財産権法(1)

応用物理学実験(1)
生物化学実験(1)
動物学実験(1)
植物学実験(1)
生体物質代謝(2)
創薬化学(2)
生物物理化学(2)
酵素化学(2)

応用化学実験A(1)
応用化学実験B(1)
応用化学実験C(1)
応用化学実験D(1)
応用化学特別実験(2)
卒業論文(8)
生体物質代謝(2)
創薬化学(2)
生物物理化学(2)
酵素化学(2)
動物と結晶(2)
免疫化学(2)
遺伝子工学(2)

労働法規(2)

←(集中)

〔先 進 工 学 部〕

応用化学科 専門共通科目, 専門科目

2016年(平成28年)度入学生用

○印は必修科目、△印は選択必修科目、無印は選択科目

・「教職」欄に教科名・印が付してある科目は、教員免許状取得に必要な科目を示す。●印は必修科目、●★印の科目は「中学一種(理科)」では必修科目だが

「高校一種(理科)」のみ希望する場合は同印のうちで必ず1単位以上修得すること(選択必修)。教科名のみ表示のある科目は選択科目。

専門共通科目

○印=必修科目、△印=選択必修科目、※印=卒業単位への非参入科目、無印=選択科目

区分	種別	科目名	単位数	標準履修学年と毎週授業時限数 (コマ数)																教職	学位授与の方針					備考		
				1年				2年				3年				4年					1	2	3	4	5			
				1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4									
〔第Ⅱ群〕 専門共通科目	a)	自然科学の歩き方	1	1																		◎	○					
		○ 微分	1	1																		◎						
		○ 積分	1		1																		◎					
		○ 偏微分	1			1																	◎					
		重積分	1				1																◎					
		微分・積分演習	1	1																			◎	○				
		偏微分・重積分演習	1			1																	◎	○				
		線形代数 1	1	1																			◎					
		線形代数 2	1		1																		◎					
		線形代数 3	1			1																	◎					
		線形代数 4	1				1																◎					
		○ 物理学 1	1	1																			◎					
		物理学 2	1		1																		◎					
		物理学実験	1	2または2																			◎	○				1Q、2Qどちらかで履修する
		物理学演習	1	1																			◎	○				
		○ 化学 1	1	1																			◎					
		○ 化学 2	1		1																		◎					
		化学実験	1	2または2																			◎	○				1Q、2Qどちらかで履修する
		○ 生物学	1	1																			◎					*2
		生物学実験	1										☆										◎	○				*2
		○ 地学	1	1																			●理科	◎				夏期集中
		地学実験	1										☆										●★理科	◎	○			
		○ 情報処理入門	2	1																			●	◎	○			
		情報処理演習	1		1																		◎	○				
小計(24科目)			25																									
b)	専門基礎科目	○ 応用化学概論	2	1																		◎						
		○ 無機化学Ⅰ	2			1																◎	○	○	○	○	*2	
		○ 有機化学Ⅰ	2			1																◎	○	○			*2	
		○ 生物化学Ⅰ	2			1																◎	○	○			*2	
		○ 物理化学Ⅰ	2			1																◎	○	○				
		○ 分析化学Ⅰ	2			1																◎	○	○			*2	
		○ 無機化学Ⅱ	2				2															◎					*2	
		○ 有機化学Ⅱ	2				2															◎	○				*2	
		○ 生物化学Ⅱ	2				2															◎	○				*2	
		○ 物理化学Ⅱ	2				2															◎	○	○	○	○		
		△ 分析化学Ⅱ	2				2															◎	○	○			*2 *3 28年度は2年次後期開講	
		△ 無機化学Ⅲ	2					1													理科	◎					*3	
		△ 有機化学Ⅲ	2					1														◎	○	○	○	○	*3	
		△ 生物化学Ⅲ	2					1														◎	○	○	○	○	*2 *3	
		△ 物理化学Ⅲ	2					1														◎	◎				*3	
小計(15科目)			30																									
c)	学部共通基礎科目	生命科学概論	1	1																		◎	○			○		
		環境化学概論	1	1																		◎	◎					
		有機化学基礎	1		1																	◎	○			○		
		応用物理学序論	2	1																		◎	◎	○	○			
		機械理工学概論	1			1																◎	◎					
		地球環境工学	2			1																	◎					
		物理数学	2			1																◎	○	○				
		回路理論Ⅰ	2			1																◎	○	○				
		プログラミング論Ⅰ	2			1																◎	○	○				
		工学基礎英語1	1			1																◎		◎				
		工学基礎英語2	1			1																◎		◎				
小計(11科目)			16																									

*2 食品衛生の資格に関する科目、当該課程の履修表を参照のこと。 *3 選択必修5科目中3科目以上履修すること。

・○印は必修科目、△印は選択必修科目、無印は選択科目
 ・「教職」欄に教科名・印が付してある科目は、教員免許状取得に必要な科目を示す。●印は必修科目、●★印の科目は「中学一種(理科)」では必修科目だが「高校一種(理科)」のみ希望する場合は同印のうち必ず1単位以上修得すること(選択必修)。教科名のみ表示のある科目は選択科目。

専門科目

○印=必修科目、△印=選択必修科目、無印=選択科目

区分	種別	科目名	単位数	標準履修学年と毎週授業時間数(コマ数)																教職	学位授与の方針					備考		
				1年				2年				3年				4年					1	2	3	4	5			
				1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4		1	2	3	4	5			
実験系		応用化学基礎実験	2				3												●★理科	◎	◎	◎				4科目中3科目以上履修すること。 履修時期はクラス分けにより指定される。		
	△	有機化学実験	1					3												◎	◎	◎	◎					
	△	分析化学実験	1					3												◎	◎							
	△	物理化学実験	1					3												◎	◎							
	△	生物化学実験	1					3												◎	◎							
	△	応用化学実験A	1															3		理科	◎	◎					4科目中3科目以上履修すること。 履修時期はクラス分けにより指定される。	
	△	応用化学実験B	1															3		理科	◎	◎	◎	◎	◎			
	△	応用化学実験C	1															3		理科	◎	◎	◎	◎	◎			
	△	応用化学実験D	1															3		理科	◎	◎	◎	◎	◎			
	○	応用化学特別実験	2																	3		◎	◎	◎	◎			
		小計(10科目)	12																									
演習系	○	物理化学演習I	1				1													◎								
		物理化学演習II	1						2											◎						*4		
		無機化学演習	1						2											理科	◎					*4		
		有機化学演習	1						2											◎	◎	◎				*4		
			小計(4科目)	4																								
卒業論文	○	卒業論文	8																		☆		◎	◎	◎	◎		
			小計(1科目)	8																								
A群	共通専門科目		化学工業の魅力	2														1			◎	◎	◎	◎	◎	*2		
			化学者のためのプロセス工学	2															1			◎	◎					
			化学者のための機械工学	2															1			◎						
			機器分析	2															1			◎	◎					
			有機化学工業	2															1			◎	◎					
			量子化学	2															1		理科	◎	◎	◎	◎		◎	
			電気化学	2															1		理科	◎	◎	◎	◎		◎	
		化学者のための電気計測	2																1		◎	◎	◎	◎	◎			
	応用化学		高分子合成化学	2															1			◎	◎	◎	◎	◎	*2	
			無機固体化学	2															1		理科	◎	◎					
			表面工学	2																1		◎						
			高分子物理化学	2																1	理科	◎	◎					
			触媒設計	2																1	理科	◎	◎	◎	◎	◎		
			機能性先端材料	2																1	理科	◎	◎	◎	◎	◎		
			錯体化学	2																1		◎	◎					
	生活・食品化学		薬品分析化学	2															1			◎					*2	
			栄養化学	2															1			◎	◎				*2	
			界面化学	2																1	理科	◎	◎	◎			*2	
			公衆衛生学	2																1		◎	◎	◎			*2	
			食品化学	2																1		◎	◎	◎	◎	◎	*2	
			微生物学	2																1		◎	◎	◎	◎	◎	*2	
			小計(21科目)	42																								
	B群		くらしと化学	1															1			◎	◎	◎			*4	
			安全化学	1															1			◎	◎	◎			実験履修条件、*4	
			化学工学基礎	1															1			◎	◎					
			物理化学概論	1															1			◎	◎					
			無機・有機材料概論	1															1			◎	◎	◎				
			真空応用機器	1															1			◎	◎	◎				
		微細加工技術	1															1			◎	◎						
		機構学及び機械要素	2															1			◎	◎						
		物理学総論	2															1		●理科	◎	◎						
		応化物理学実験	1																2	●★理科	◎	◎	◎					
		化学総論	2															1		●理科	◎	◎		◎				
		生物学総論	1															1		●理科	◎	◎						
		応化生物学実験	1																2	●★理科	◎	◎	◎					
		生体物質代謝	2															1				◎				*2		
		創薬化学	2															1				◎				*2		
		免疫化学	2																1		◎					*2		
		生物物理化学	2															1			◎	◎	◎	◎	◎	*2		
		酵素化学	2															1			◎	◎	◎	◎	◎	*2		
		遺伝子工学	1																1			◎	◎	◎	◎	◎	*2	
		微生物実験	1																		◎	◎	◎	◎	◎	*2 夏期集中		
		鉱物と結晶	2																1	理科	◎	◎	◎	◎	◎			
		知的財産権法	1															1			◎	◎				夏期集中		
		実務のための知的財産権	1																	☆	◎	◎	◎	◎		夏期集中		
		労働法規	2																		◎	◎	◎	◎	◎			
		学外研修	2																		◎		◎			集中		
		小計(25科目)	37																									
II群・III群 合計(111科目)			174																									
I群・II群・III群合計(195科目)			319																									

*2 食品衛生の資格に関する科目、当該課程の履修表を参照のこと。 *4ハイブリッド留学対象者は別日程で開講

◇応用化学科の履修規定と履修上の注意〔第1部 2016年(平成28年)度入学生用〕

I 履修規定

■3年次科目履修条件、卒業論文着手条件及び卒業条件*1

群	科目区分	3年次科目履修条件	卒業論文着手に必要な単位数	卒業に必要な単位数
【第Ⅰ群】 総合教育科目	a) 総合文化科目	67単位 (必修31単位を含む)	12 単位	14 単位
	b) 外国語科目		8 単位 (必修 6 単位を含む)	8 単位 (必修 6 単位を含む)
	c) 保健体育科目		2 単位 (必修 2 単位を含む)	2 単位 (必修 2 単位を含む)
	d) キャリア支援科目			
【第Ⅱ群】 専門共通科目	a) 共通基礎科目		10 単位 (必修 10 単位を含む)	10 単位 (必修 10 単位を含む)
	b) 専門基礎科目		26 単位 (必修 20 単位を含む)	26 単位 (必修 20 単位を含む)
	c) 学部共通基礎科目		(選択必修 5 科目から 3 科目 (6 単位) を含む)	(選択必修 5 科目から 3 科目 (6 単位) を含む)
【第Ⅲ群】 専門科目	実験系		8 単位 (2 年次実験系 4 科目中 3 科目、3 年次実験系 4 科目中 3 科目を含む)	10 単位 (2 年次実験系 4 科目中 3 科目、3 年次実験系 4 科目中 3 科目、および 4 年次必修 2 単位を含む)
	演習系		3 単位 (必修 1 単位を含む)	3 単位 (必修 1 単位を含む)
	A 群		29 単位 (共通専門科目 8 単位以上、コース選択 8 単位 ^{**2} を含む)	29 単位 (共通専門科目 8 単位以上、コース選択 8 単位 ^{**2} を含む)
	B 群		化学系特別枠を含め、最大 8 単位まで算入できる	化学系特別枠を含め、最大 8 単位まで算入できる
	卒業論文			8 単位
合計			112 単位 (自由枠として最大 14 単位まで含むことができる)	124 単位 (自由枠として最大 14 単位まで含むことができる)

上記の単位は必要最小限の単位数である。

※1 3年次科目履修条件、卒業論文着手条件については修学についての頁の学部履修要項も参照のこと。

※2 3年次科目のうち、応用化学コースはA群応用化学分野から、生活・食品化学コースはA群生活・食品化学分野からそれぞれ8単位以上を修得する。

■コース制について

3年次に応用化学コース、生活・食品化学コースのいずれかを選択する。

■3年次科目履修条件

2年以上在学し、〔第Ⅰ群〕・〔第Ⅱ群〕・〔第Ⅲ群〕の修得単位の合計が67単位以上、うち、必修科目31単位以上修得していること。また、2年次までに設置されている第Ⅲ群実験系の科目から3単位を修得していること。規定単位を満たさない場合は履修を認めない(転部・転科および編入学生は学科長に相談のこと)。ただし、学年進級は本条件の充足に係わらず年度終了時毎に行う。

■卒業論文着手条件

3年以上在学し、第Ⅰ群 a) 総合文化科目 12 単位以上、b) 外国語科目 8 単位以上(必修 6 単位を含む)、c) 保健体育科目 2 単位以上(必修 2 単位を含む)、第Ⅱ群 a) 共通基礎科目 10 単位以上(必修 10 単位を含む)、b) 専門基礎科目と c) 学部共通科目から 26 単位以上(専門基礎科目必修 20 単位)、第Ⅲ群実験系科目から 8 単位、演習系科目から 3 単位(必修 1 単位を含む)、A 群共通専門科目 8 単位以上、コース選択 8 単位以上、B 群として最大 8 単位を含め、第Ⅲ群合計 40 単位以上、総合計 112 単位以上修得すること。

■卒業条件

4年次に、卒業論文着手条件の各項に定める単位に加え、第Ⅰ群 a) 総合文化科目から 14 単位以上、応用化学特別実験 2 単位、卒業論文 8 単位を必修として、総合計 124 単位を修得すること。

II 履修上の注意

1. 第Ⅲ群実験系「応用化学基礎実験」を履修するには、第Ⅱ群a) 共通基礎科目「化学実験」を履修しておくことが望ましい。
2. 2年次以降に開講される実験系科目を履修するには「化学実験」または「応用化学基礎実験」のうち少なくともどちらか一方を履修しておくこと。
3. 2年次に開講される実験系科目は選択必修4科目中3科目以上修得する必要がある。
4. 3年次実験科目「応用化学実験A、B、C、D」は、「安全化学」と「科学と倫理」を既に履修しているか、並行して履修していなければ受講できない。
5. 3年次実験科目「応用化学実験A、B、C、D」は選択必修4科目中3科目以上修得する必要がある。
6. 第Ⅱ群b) 専門基礎科目の選択必修科目は5科目中3科目以上修得すること。
7. 自由枠とは、第Ⅰ群、第Ⅱ群、第Ⅲ群の中から履修できる枠である。なお、他学科の第Ⅱ群b)、第Ⅲ群の科目も自由枠に含むことができる。
8. 化学系特別枠として、生命化学科および環境化学科第Ⅲ群A群の専門科目から最大8単位まで履修し、応用化学科の専門科目とすることができる。履修のできる科目として次の科目を指定する。指定科目は変更されるときがある。なお、科目の内容については当該学科のシラバスを参照すること。

化学系特別枠として履修のできる指定科目

生命化学科 科目	環境化学科 科目
分子生物学	移動現象
有機化学Ⅳ	分離工学
有機化学Ⅴ	化学装置設計
創薬化学	土壤環境工学
ケミカルバイオロジー	環境エネルギー工学
植物生理学	環境材料化学
環境生物化学	高分子材料化学
	機械工学・材料加工学概論
	化学工業総論

9. 教員免許を取得する上で必要な科目、および履修方法については別紙「教職課程の手引き」を参照すること。なお、本学科で教職課程の教科（理科）に関する科目は次の通りである。免許状の種類によって修得する科目と科目数が異なるため注意すること。科目履修登録前に学生支援課の教職担当者と相談することが望ましい。また、履修の際にはキャップ制のことを考慮した上で計画的に履修すること。

科目区分	授業科目
物理学	物理学総論
化学	化学総論、無機化学Ⅲ、無機化学演習、量子化学、電気化学、無機固体化学、高分子物理化学、触媒設計、機能性先端材料、界面化学
生物学	生物学総論
地学	地学、鉱物と結晶
実験科目	応化物理学実験、応用化学基礎実験、応用化学実験A・B・C・D、応化生物学実験、地学実験、

★上記の条件を充足しているか否かの判定は、毎年度末に行う。

なお、年度末に充足できなかった場合、次年度以降の前期末終了時点でも判定を行うことがあり、当学科では、以下のとおりとする。

条件の種類	前期末判定の有無
3年次科目履修条件	有
卒業論文着手	無
卒業	有（学則の定めにより）

工学院大学先進工学部応用化学科 食品衛生管理者・食品衛生監視員養成課程について

■「食の安全」：応用化学の視点から

工学院大学先進工学部応用化学科では、「応用化学」を“人間が必要としているものは何か、くらしの中で何を改善しなければならないのかという課題に、化学の立場から取り組み、実践的に解決する学問”として捉えています。そして、このような視点から「いのち」と「くらし」を見つめ、より良い生活環境を創造するための教育や研究を進めます。「応用化学」の内容は、時代の要請に応じて変化していくものですが、本学科では、身近な生活の問題をより広く扱うことが今の社会の要請であると考え、食品化学の領域を「応用化学」の中に位置づける必要があると判断しました。近年、食の安全に関係する事件等が続いて起き、社会的に大きな関心と呼んでいます。食の安全が、今後も多くの国民の関心事であることは論を待ちません。このような状況の中で実際に食品の管理の素養をもった人材を育成することは、強い社会的な要請であると考えています。いうまでもなく、食品衛生の管理や監視の業務においては、化学的な分析の技術はかなり重要な部分を占めています。本学科では分析化学の基礎的な教育が徹底されている一方、生物化学の領域の専門教育にも力を注いでいます。このような素養をもつ人間が食品化学の領域へ展開しようとするのは、ごく当然のことであり、また、きわめて望ましいことでもあります。確かな化学の基礎を修得した技術者がこの領域で一定の役割を果たすようになることは、食の安全管理の質を高める上で大きな意味をもつと考えています。

■食品衛生管理者・食品衛生監視員養成課程の履修について

本養成課程は、食品衛生管理者および食品衛生監視員の養成施設として、厚生労働大臣に登録申請し、認可されました。平成27年4月1日以降に入学したものは、応用化学科で開講される科目で、本養成課程で指定された科目を所定数修了すると、食品衛生管理者および食品衛生監視員の資格要件を満たすことになります。

■本養成課程修了条件

食品衛生法上の区分A群からD群の科目については、必修科目を取得の上、選択科目から8単位以上、合計34以上取得し、食品衛生法上の区分E群の科目については、必修科目を取得の上、選択科目から8単位以上、合計10以上取得し、全体で総単位数44単位以上修得すること。ここでいう必修科目と選択科目は、本養成課程において指定されるもので、応用化学科の指定とは異なる場合がある。

■編入学について

他の養成施設より編入学する場合には、本養成課程修了条件に算入される場合があるので、学科長に相談すること。

工学院大学先進工学部応用化学科食品衛生管理者・食品衛生監視員養成課程の履修表

区 分	基本科目名	左記科目に該当する申請 科目名	選択別		単位 数計	備 考
			必	選		
A群 化学関係	分析化学	分析化学Ⅰ	2		2	注) A群からD群 まで34単位以 上取得し、E群を 含めて総単位数 44単位以上取得 すること。
		分析化学Ⅱ	2		2	
		分析化学実験		1	1	
	有機化学	有機化学Ⅰ	2		2	
		有機化学Ⅱ	2		2	
		有機化学演習		1	1	
		有機化学実験		1	1	
	無機化学	無機化学Ⅰ	2		2	
		無機化学Ⅱ	2		2	
		無機化学演習		1	1	
		物理化学Ⅰ	2		2	
		物理化学実験Ⅰ		1	1	
			物理化学実験		1	
B群 生物化学系関係	生物化学	生物化学Ⅰ	2		2	
		生物化学Ⅱ	2		2	
		生物化学実験		1	1	
	食品化学	食品化学	2		2	
	生理学	生体物質代謝		2	2	
	食品分析化学	機器分析		2	2	
応用化学実験C		1		1		
C群 微生物学関係	微生物学	微生物学	2		2	
		生物学		1	1	
		微生物実験	1		1	
D群 公衆衛生関係	公衆衛生学	公衆衛生学	2		2	
	疫学	免疫化学		2	2	
A群からD群の必修科目を取得の上、A群からD群の選択 科目から6単位以上取得し合計34単位以上取得すること。		小 計	26	14	40	
		最低取得単位数小計	26	8	34	
E群 その他関連科目	栄養化学	栄養化学	2		2	
	植物生理学	生物化学Ⅲ		2	2	
	酵素化学	酵素化学		2	2	
		生物物理化学		2	2	
	遺伝学	遺伝子工学		1	1	
	生物有機化学	創薬化学		2	2	
	高分子化学	高分子合成化学		2	2	
		高分子物理化学		2	2	
	その他	薬品分析化学		2	2	
界面化学			2	2		
E群から必修科目を修得の上、E群から選 択科目から8単位以上取得し合計10単位 以上取得すること。		小 計	2	17	19	
		最低取得単位数小計	2	8	10	
A群からE群の必修科目および選択科目の総単位数					59	